



…『キラキラ』の由来…
NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

…つぶやきサロン…

何でもやる覚悟出来ていますか

私の友人が今年定年を迎えた。定年前は会社の役員として部下の信頼も篤く、早くから課長になるなど出世頭の一人でもあった。その友人から退職後何かやりたい、出来れば地域のお役に立ちたいとの話があり、結構なことなのでいくつかの勉強会を紹介した。

退職を迎える人たちにとって退職後健康であれば平均寿命の80歳までとすると、これからの20年間をどのように過ごすか、その行く先はとても心配である。一日中家にいることになると、「亭主元気で留守がいい」どころか、「濡れ落ち葉離婚」になりかねず、定年がいよいよ現実味を帯びるようになってはじめて、会社一途で家庭を顧みなかった自分によやく気づくというのが実態である。

そのため大企業や公務員の労働組合は退職間近の人を対象にした、「退職後の人生設計」・「退職後の健康管理」・「退職金の投資講座」等について事前の講習会や学習会が設けられ、定年の入り口で失敗しないよう指導が行われている。しかしこれらは恵まれたごく一部の事例で、大多数は定年直前まで仕事に追われ、なかなか事前に「退職後の生き方について」夫婦で相談してということにならない。何せ本人にとって退職は初めてのことで、退職後の生活は想像できてもなかなか実感が湧かない。なかにはあわよくば定年後もお声がかかり、嘱託等で継続勤務出来る等と会社の都合でなく、自分の都合で楽なことをつい考えてしまう。まして退職先輩に聞いても個人差がありなかなか本音を話してもらえないから、よけいに迷いが出て悩んでしまう。

特に今回の友人のように会社役員となると孤立していることが多く、相談する人が限られ悩みは深い。それだけに現在は紹介した勉強会で元気に頑張っている姿を見ると、ここで得た知識を基に地域で役立ちたい、出来れば将来NPOを立ち上げこれまで考えてきたことを実践したいという想いが、強く醸成されつつあるように思われる。定年先輩としてNPOを立ち上げるには「何でもやる覚悟」がいりますよ、夫婦でよく相談してと言ってやりたいが、成功体験の話を勉強会で聞きその気になっている友人に言いづらく、つい「つぶやき」に終わっている。



特定非営利活動法人まちネット人ネット九州

代表 北村 速雄

第96回・サポートセンターの日/2009・10・26

★ NPO活動発表会 ★

～地球に優しい持続可能な環境保護活動～



NPO法人帆柱自然公園愛護会
事務局長 四辻 早苗さん

帆柱自然公園愛護会は帆柱山系の自然保護を目的に昭和48年に任意団体として設立され、その後、行政との協働を念頭におき、平成18年にNPO法人を申請、認定されました。現在は皿倉山ビジターセンター(旧国民宿舎)の業務運営をしながら、「自然と市民を繋ぐ窓口」として様々な自然環境活動を行っています。

帆柱自然公園は北九州の中心に位置し、100万都市にありながら、自然がいっぱいでテレビ塔のある皿倉山をはじめ、4つの山で構成されています。

会の活動はこの帆柱山系をフィールドに、3つの柱、スローガンを掲げて行っています。

まず1つ目の「守る(保全)」は登山道の整備や清掃、草刈、各登山道のパトロールを行っています。

2つ目の「伝える(ガイド)」は季節、ニーズに合った散策・登山ガイドを行い、山頂では素晴らしい眺望と北九州市の自然環境を紹介しています。

3つ目の「育てる(ボランティアの育成・青少年の環境教育)」はフィールドワークを通して色々な体験をしてもらい、その中から環境への関心を培い、自然を愛する心を育てています。

ビジターセンターは帆柱山系の案内人が常駐し、休憩室、研修室は多くの市民が利用しています。また、クラフト教室や観察会、自然体験講座など年間を通して開催し、参加者に喜ばれています。

帆柱を愛するバトンを受け継ぎ今年で35周年を迎えました。その結果、昨年は北九州市環境賞、今年は環境大臣表彰を受賞することが出来ました。

これからも行政との協働や企業、協力機関、市民の皆さんと共にネットワークを広げ、連携し、環境モデル都市北九州市に寄与したいと思います。



日本熊森協会 福岡県支部
支部長 南里 正博さん

日本熊森協会は1997年に設立された任意の自然保護団体です。山の保全と野生動植物の保護活動を全国で行っており、20府県に支部を持ち、福岡県支部は北九州にあります。

近年、開発・拡大造林・地球温暖化・酸性雨などにより猛スピードで劣化している奥山を、全生物と人間のために保全・復元しようと、森の最大獣であるクマをシンボルに活動を続けています。熊をシンボルにしたのは大型動物が棲む森ほど豊かだといわれているからです。現在の会員数は約23,500人ですが、100万人規模の会を目指しています。

「ツキノワグマ、人間の環境破壊により絶滅寸前」という新聞記事を見た関西の中学生達の関心が団体結成のきっかけでした。森山会長はその中学生の担任で、生徒達と共に環境保護運動に取り組むようになりました。しかし、野生動物の絶滅の状況、森の荒廃の問題は、年々、いっそう深刻になってきました。そこで、調査や研究だけに終わらない、自ら先頭に立って野生動植物の保全活動を行う、欧米のような実践型の自然保護団体が日本にも必要だという考えから、97年の会結成に到りました。

日本は森林の国と言われてですが、原生的な森はわずか6%ほどです。戦後まもなく、杉などの植林事業が推奨され、特に九州は人工林の比率が高く、大量のえさを必要とする大型獣の熊から絶滅してしまいました。人工林はその後、輸入自由化で安い輸入材が入ったことで林業が成り立たなくなり、山は放置され、荒廃が進んでいます。

私達の子や孫に豊かな水を出すため森を残し、全生物との共存を目指し、助成金に頼らず、会費と寄付による運営で環境運動に取り組んでいきます。

イベント情報

◆◆第12回北九州手話フェスティバル

12月の「障害者週間」にちなみ、市民と聴覚障害者の交流を深め、聴覚障害者への正しい理解と手話の普及を目的として開催します。

○日時：12月6日（日）13：30～16：30

○会場：北九州芸術劇場大ホール

○内容：記念講演、アトラクション（手話劇）

○講師：太田治子氏（作家・父は太宰治氏）

○入場料：大人2,000円（当日券2,500円）

小人1,500円（当日券1,800円）

親子券3,000円（当日券3,500円）

○主催・問合せ先：

第12回北九州市手話フェスティバル実行委員会

特定非営利活動法人北九州市聴覚障害者協会

TEL/FAX093-881-0114

◆◆シニア体カアップステーション in 北九州

参加者募集

運動初心者のシニアの皆さんが、週1回程度気軽に集い参加できる健康・体づくりのプログラムです。いつからでも、どなたでも参加いただけます。

○期間：10月18日（日）～12月20日（日）
（計10回）9：00～2時間程度

○会場：北九州市立大学体育館他

○参加費：保険料1回50円のみ（参加日毎に必要）

○内容：ストレッチング、有酸素系運動、筋カトレーニング、転倒予防運動、食育実習・講話など

○申込・問合せ先：NPO法人北九州スポーツクラブ

ACE事務局

TEL093-863-6010

FAX093-863-6012

<http://www.ace-sports.jp>



助成金情報

★ヤマト福祉財団 「障がい者福祉助成金」

助成対象は以下の2つです。

(1) 一般助成

①障がい者施設の設備費、備品等の購入に対する助成

②各種会議、講演、研修事業に対する助成

③各種出版、啓発活動等に対する助成

④各種調査、研究、文化、スポーツ活動等に対する助成

(2) 障がいのある大学生(4年制)に対する奨学金の支給

★一般助成：一件当り上限額 100万円

奨学金：月額5万円（年間60万円、返済の必要はありません）

★受付期間：12月1日（火）～31日（木）

当日消印有効（ただし、奨学金応募書類の請求期間は2月中旬～4月中旬の予定）

★財団法人 ヤマト福祉財団（福祉助成金事務局）

〒104-0061

東京都中央区銀座2-12-15

TEL03-3248-0691

FAX03-3542-5165

<http://www.yamato-fukushi.jp/>

★子どもゆめ基金助成金

子どもの健やかな育成を願って活動されている団体を3分野で支援します。

★助成対象：①子どもの体験活動

②子どもの読書活動

③子ども向け教材開発・普及活動

★助成金額：2万円以上2,000万円を限度とする。

★締め切り

青少年課に提出する場合：11月27日（金）
17：00必着

国立青少年教育振興機構に提出する場合：
12月5日（土）当日消印有効

★子ども家庭局青少年課「子どもゆめ基金」係
（担当：林・勝田）

〒803-8501 小倉北区内1-1

TEL093-582-2392

★国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部助成課
〒151-0052

東京都渋谷区代々木神園町3-1

問合せ用フリーダイヤル0120-579081

TEL03-5790-8117・8118

FAX03-6407-7720

E-mail yume@niye.go.jp

<http://yumekikin.niye.go.jp/>



知って納得、NPO・ボランティアのあれこれ

Q. NPOの資金源には、どのようなものがありますか。

A. NPO法人の資金源は、**会費、寄附金、本来事業からの対価収入、非本来事業からの対価収入、助成金、補助金、借入金、金利等の大きく8つに分類**できます。これらの資金にはそれぞれ利用する上で特徴があり、多くのNPOでは活動や事業の目的とこれらの資金の特性を照らし合わせて、複数の資金を組み合わせることによって、事業や団体運営を行っています。企業と比べて収入源が多様なことがNPOの特徴の一つといえます。こうした資金をいかに獲得し、効率よく活用するかが、NPOの知恵の見せどころといえます。

（参考）NPOWEB

NPO法人の申請・認証状況

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成21年9月30日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	36,637	35,327	438
【福岡県】	1,320	1,287	1
内閣府	3,283	3,078	130
全国計	39,920	38,405	568

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成21年10月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	287	248	—

2009年10月に認証された特定非営利活動法人

- 特定非営利活動法人未来21の会（10月9日）
- 特定非営利活動法人ごった煮シティ（10月28日）

起業したい人集まれ！！

北九州市コミュニティビジネスセミナーが開催されました

去る10月13日、19日、27日の3日間、コミュニティビジネスに関心を持つ人を対象にしたコミュニティビジネスの基本を学ぶセミナーが開催されました。

セミナーの参加者は24名と、定員20名を上回る人数の申込みがあり、関心の高さをうかがわせました。



セミナー講師は
NPO法人
えふネット福岡
専務理事
蓼原典明さん

＜セミナーの主な内容＞

- 【第1回】コミュニティビジネスとは何かを理解するための社会背景やビジネスの特性
- 【第2回】北九州市や福岡市内の事例紹介と起業者に必要な能力や人間性
- 【第3回】コミュニティビジネスを起業するために押さえておきたい基本知識

参加者の多くから、「入門レベルの内容で初心者に分かりやすく大変よかった」、「コミュニティビジネスの考え方の整理ができた」という感想が聞かれ、好評のうちに終了しました。



北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日 …毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00
祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー…パーティーで仕切った無料の会議室。
※要予約

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

◆利用時間 月曜日～土曜日《10:00～21:00》
日曜日・祝日《10:00～17:00》
【休館日】11月26日(木)・12月24日(木)

編集後記

先日、風過ぎに息子が発熱。インフルエンザ反応が陰性だったので、解熱剤と抗生剤をもらって帰りました。その晩、39.6度前後の高熱が続き、初めは関節痛や頭痛を訴え、息苦しうに唸っていましたがいつしか寝入ってしまいました。ところが真夜中過ぎ、突然むくっと起き上がりニタニタと笑い始め、訳のわからぬことを口走ったと思ったら早足に自分の部屋にいき、また寝ていました。その様子がおかしくもあり、ぞっと恐ろしくもありました。幻覚を見たら、どんな行動をするか予測がつかないので、高熱時は子どもを一人にはおけないかと改めて痛感しました。

b y おすぎ